

12月 月例研修会

晩秋の桜井茶白山古墳

忍坂街道・多武峰街道

2024年12月3日(火)実施

行程:元奈良商工会議所前—桜井茶白山古墳
舒明天皇陵—鏡女王墓—石位寺(昼食)—
赤坂天王山古墳—談山神社—近鉄奈良駅 17時頃解散

今回は古墳や天皇陵を多く廻るので、桜井のボランティアガイドを頼んだ。桜井駅で待ち合わせ、生駒交通のバスで15分程の桜井茶白山古墳を見学。

忍坂街道を南下し忍阪の集落に到着。
ここからは徒歩。
集落の道は緩いながら登りて、途中で
神武東征の伝説がある神籠石がある。
民家が途切れた所で、舒明天皇押坂
内陵に到着。



<神籠石>



ボランティアの東田さん



<舒明天皇押坂内陵>

鏡女王歌碑の前では、杉本さんが歌の意味を紹介された。
好天の道すがら、紅葉が綺麗だった。



この後2班に分かれて鏡女王押坂墓、大伴皇女押坂内墓を見学。
途中には鏡女王の歌碑もあった。



階段が急!!「私ここで待ってるね」



<大伴皇女押坂内墓>

2班に分かれたが、お昼ご飯は石位寺に全員集合。

この寺は現在無住だが、融通念仏宗で檀家や近隣の住民によって管理されている。私たちのために特別部屋を開けていただいた。三尊石仏(石造浮彫伝薬師三尊像)が祀られている。この石仏は栗原寺から川の氾濫で流れ着いたとされ、古くから薬師三尊として地元の人々に信仰されている。



石位寺三尊石仏
(撮影禁止の為 HP より)

特別に開けていただいた部屋のなかで、ゆっくりお弁当を食べた。驚いたことに池田さんのリュックサックの中身はみんなの為の海苔巻きや煮物だった。お腹いっぱい、おいしかった。

午後は赤坂天王山古墳。

実際に、古墳の中に入れるのだ。

入口は腹這い状態で入らなければならない。中は暗い。ゾクゾクしたが、入ってみれば内部は広かった。白い石棺があり盗掘の穴があいていた。なんと中には蝙蝠が寝ていた。みんな無事古墳から出てきた。子どもの頃の土管くぐりを思い出した。



古墳の入口「狭いなあ」



<石棺>

最後は今、紅葉が見ごろだと思われる談山神社だ。

どこを見てもモミジの赤で、みんな写真を撮るのに夢中。



本殿の中では 藤原鎌足展が開かれていた。もう少し時間があればと思った。帰りのバスの中では「昭和の歌」の大合唱? お疲れさまでした。



参加者(敬称略)

青木幸子 足立勝洋 有元康人 飯島八重子 池田富子 太田和則 尾崎信次 國方まり子
小山和夫 小山佳子 高間祥子 杉本登 千載輝重 田代一行 寺田孝 富井忠雄 富江文雄
中井弘 永井幸次 羽尻嵩 福田美伸 松尾弘 戸田博子 23名